



令和5年度 佐久市立中込中学校グランドデザイン

<学校長の願い>

「すべての生徒の可能性をひらく学校づくり」

【教育方針】

- 自ら啓く学びづくり 問いに基づき、思考し、主体的に学ぶ力を育成していきます。
- 心を開く仲間づくり 感受性を磨き、優しさを涵養していきます。
- 未来を拓く地域づくり 地域とかがわり、課題を解決していく新たな学びの場を創造していきます。

<全校研究テーマ>

- 「『集団づくり』を生かした『学ぶからだ』の創造」
- ①生徒とともにする授業
 - ②学びの土台になる集団づくり
 - ③社会や生活とのつながり
 - ④問いを立て、追究すること

【大切にしたい学び方】

- ①分からないということ
- ②友の声に耳を傾けること
- ③自分のわからなさを追究すること
- ④分かっていることを生かす、友に伝えること

<保健室から>

- ・自分の健康状態や発達状態を知り、健康管理ができる生徒の育成
- ・他者を思い、自己を大切にできる心豊かな生徒の育成
- ・命の大切さに気づくことのできる生徒の育成

目指す学校像

- ・生徒にとって 楽しく安心できる場所
- ・教職員にとって 同僚性を発揮し学び合える場所
- ・保護者にとって 安心して通わせることのできる場所
- ・地域にとって 信頼できる場所

生徒の願い

学友会スローガン

「Act for people」(案)

～ 思いやりからつながりへ ～

学校教育目標

笑顔があふれ

学びと活動がある学校

- ☆違いを認め合う仲間づくり
- ☆思いを伝え合う授業、場面づくり
- ☆主体的に生きる自分づくり

<生徒の実態>

- ・心優しく、素直な生徒が多い。
- ・活気があり、何事に対しても一生懸命に取り組もうとしている。
- ・授業や諸活動などを通して、自分たちの思いを伝え合いながら自らの手で課題を解決していこうという気持ちが高まってきている。
- ・友への心ない言動やメディアを介したトラブルがある。
- ・他者とよりよい関係を築いていく必要がある。

<保護者との連携>

- ・PTA活動の充実
「子ども First ～家庭・学校・地域をつなぐ～」
(中込中PTAスローガン)
- ・学校・家庭間の連絡、外部機関との連携
- ・学校評価アンケートの実施と公表、振り返り

<地域との連携>

- ・安全の確保
- ・地域の人材活用
(総合的な学習の時間、放課後学習、部活動、職場・福祉体験 等)
- ・信州型コミュニティスクールの充実(地域交流講座、四者会議 等)
- ・同窓会との連携

<学校評価アンケートから分かった課題>

- ・教育相談の充実と家庭との連携の一層の推進
- ・わかりやすい授業づくりの一層の推進
- ・家庭学習への支援(手立て)

<認め・支え合う集団を創る>

1. 規範意識や自己肯定感の向上
2. 違いを認め合い、互いを尊重し合う教育の充実
3. 前向きに問題解決しようとする生徒の育成
4. 学級活動・学友会活動や諸行事に向けた主体的で自治的な活動の充実
5. 個別の教育的ニーズに応じた支援と組織的対応

<授業を創る・学びを創る>

1. 問いや思いを大切にし、対話を重視した生徒主体の授業づくり
2. 「わかる・できる」授業(信州型UD)
3. 主体的な学習習慣の確立
4. 道徳授業の充実
5. ICT教育の充実

<夢や志を育むキャリア教育>

1. 3年間を見通した系統的な「総合的な学習」の充実
1学年「ふるさと佐久を知る」
2学年「ふるさと佐久で働く」
3学年「ふるさと佐久に貢献する」
2. 自身の進路を自ら切り拓く力の育成
3. 「キャリアパスポート」の有効活用

相互連携